

## 1 改築の考え方

東調布中学校は、築 40 年を経過した校舎が全体の過半を占めるなど老朽化が進んでいることから、良好な教育環境を確保するため、全面改築に向けて基本構想・基本計画を策定しました。

改築にあたっての基本的な考え方をまとめるため、大田区では平成 29 年度より「東調布中学校改築計画協議会」を設置し、具体的な検討に着手しました。大田区の上位構想や東調布中学校の歴史や伝統、教育理念の内容を踏まえながら、改築計画協議会の開催により、委員の皆様、学校関係者や地域の方々のご協力のもと広く意見交換を行い、検討を進めました。

今後は、改築に向けこの基本構想・基本計画にまとめた考え方に則り、設計から工事へ取り組みを順次進めてまいります。

### 前提条件

- 体育館は、工事期間中も（既存体育館か新体育館のいずれかを）利用できる。
- 改築後の校庭は、既存と同等以上の面積を確保する。

## 2 東調布中学校改築の基本方針

東調布中学校改築の基本方針を以下のとおりまとめました。

### 東調布中学校の特色

- 修学信条[生きた至宝となれ]に基づき、スポーツと学業の両立
- 閑静な住宅街にあり、学校施設が集中した文教地区の落ち着いた環境
- [東調布中スマイルサポート]をはじめとした、地域による積極的な支援活動

### 複合化における視点

- 【教育】学習環境の向上に資する複合化（生徒の学びの場、世代間交流・ふれあい）
- 【地域】嶺町地区の特性を活かした、安心していきいきと暮らせるまちの形成
- 【公共施設マネジメント】公共施設の集約・複合化等による効果的・効率的な施設の整備

### 東調布中学校改築の基本方針

- 配置計画  
生徒に親しまれ、地域にとって馴染み深い既存校舎と類似した配置とし、学校の近隣へ与える影響の変化を考慮した計画
- ゾーニング  
普通教室は学年ごとのまとまりを確保し、日当たりもよい南向きに配置
- 配置する複合施設  
**地域図書館**：嶺町地区のこどもの学びといきいきとした暮らしを支える生涯学習拠点  
**地区備蓄倉庫**：災害時における調布地域の避難者等への対応

## 3 現状の配置図 及び 改築後の配置案

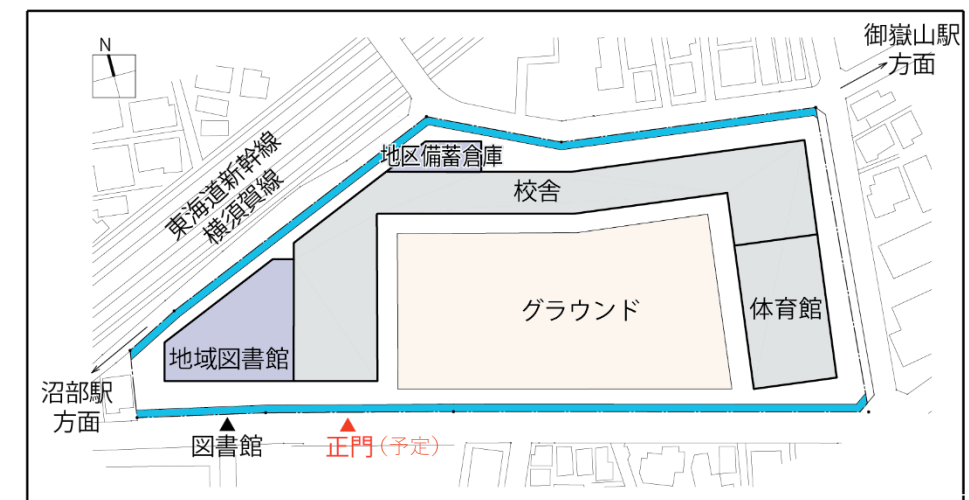
本計画は既存校舎を利用しながら建替えを行うため、工事手順を考慮しながら建物配置を検討しました。その結果、現校舎と形状に近い配置案を選定いたしました。選定にいたる主な理由は以下のとおりです。

- ・ 現在の教育環境からの変化が小さいこと
- ・ 周辺環境との調和が図れ、近隣に与える影響も小さいこと
- ・ 普通教室が南面かつグラウンド側へ配置できること

現状の配置図



改築後の配置案



■：幅員 2 メートル以上の歩行者通路を整備

## 4 スケジュール 及び 工事ステップ (案)

本資料における「スケジュール 及び 工事ステップ (案)」は、現時点で予定しているものであり、今後の基本設計・実施設計の詳細な検討に伴い、変更する可能性があります。

### 今後のスケジュール

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
工程	基本設計・実施設計		ステップ1	ステップ2・3				ステップ4	ステップ5				

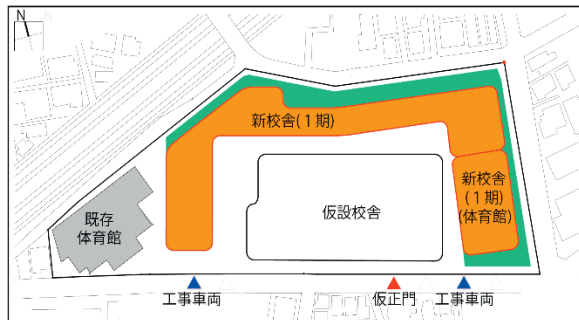
#### 【ステップ1】



#### 外構一部解体及び仮設校舎建設

外構部分を解体後、教員や生徒が生活する仮設校舎を建設します。

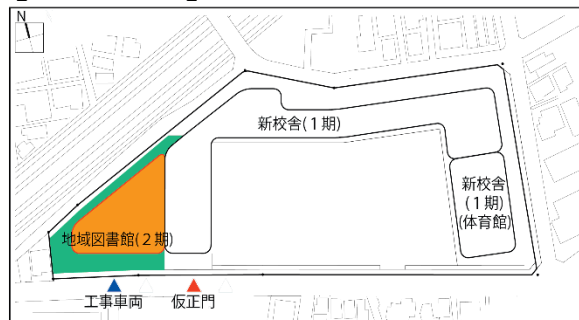
#### 【ステップ3】



#### 新校舎建設

体育館を含め、新校舎を建設します。

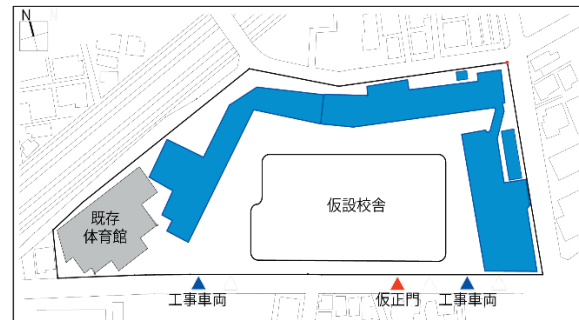
#### 【ステップ5】



#### 地域図書館建設

地域図書館部分を建設し、竣工します。

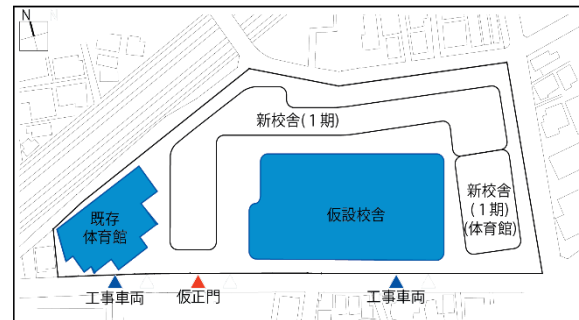
#### 【ステップ2】



#### 既存校舎解体

既存校舎以外の全ての校舎を解体します。既存体育館はステップ3まで使用します。

#### 【ステップ4】



#### 仮設校舎・既存体育館解体及び校庭整備

仮設校舎と既存体育館を解体し、校庭を整備します。

■ 建設 ■ 解体 ■ 外構

#### 予定建物

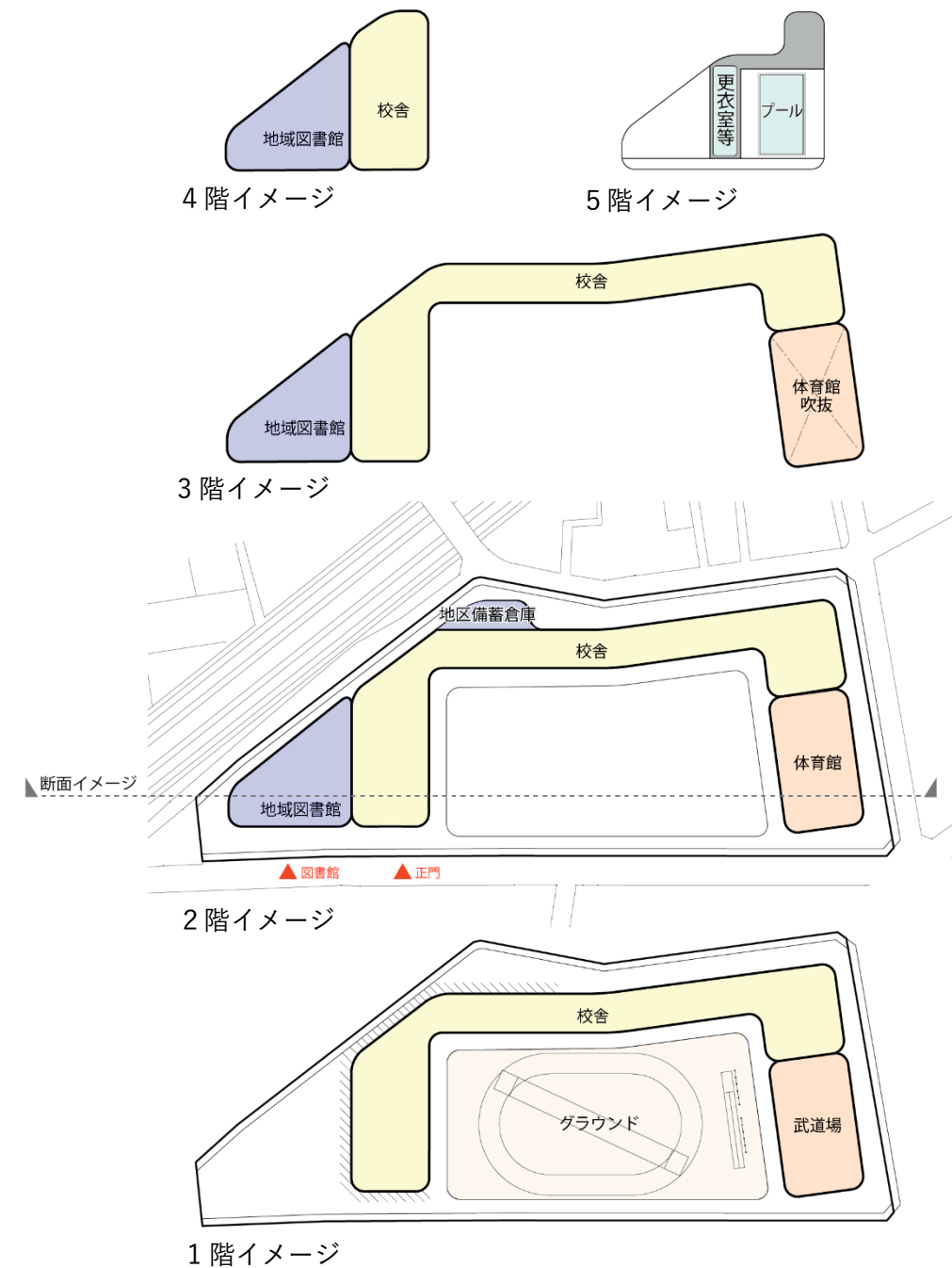
階数 : 地上5階

構造 : 鉄筋コンクリート造

## 5 ゾーニングイメージ

本資料における「ゾーニングイメージ」は、現時点で予定しているものであり、今後の基本設計・実施設計の詳細な検討に伴い、変更する可能性があります。

各階のゾーニングイメージ及び断面イメージは、以下のとおりです。



#### 断面イメージ

